

こうぐち 練馬区議会議員

高口 ようこ

かわら版 vol.12

こどもと、
未来のこと。



1980年桜台生まれ、曾祖父の代から練馬／開進第三小・中、都立大泉高校、慶應義塾大学卒／地域活動を多数主宰／夫をがんで亡くし、在宅医療や介護を経験／小竹町にて2児の子育て中／フリーライターを経て、2018年、区議補選で初当選。2019年、トップ当選。

暮らしを支える非正規公務員 官製ワーキングプアの実態...

官製ワーキングプアとは...
公務員の非正規化や、民間委託等が急増し、公共の業務で働く労働者の貧困が社会問題に。2020年度、非正規公務員を新たに「会計年度任用職員」と位置付ける制度がスタート。

格差を生み出す社会構造に NO!

職員の約 **1/3**

正規公務員

全体では男女 **1:1**
管理職の **77%** が男性

- 正規公務員の中にも男女の格差
- 部長クラスの年収、約 1179 万円
初任給、約 366 万円

非正規公務員

男女比は **1:7**

『嫌なら代わりは幾らでもいる』と言われることに怯え、不安定な待遇を飲むしかない...

常勤の4分の3と定められた勤務時間では、十分に支援の力を発揮できないことも

- 年収 200 万円代／契約は1年ごと／5年後は公募
- 専門性の高い職でも、待遇は低い「やりがい搾取」状態
- 実態に合わない勤務時間で、しわよせは現場と区民に

経済格差、男女格差の温床に

様々な問題が噴出するコロナ禍。高口が特に取り組んだのが、格差の問題です。練馬区政で、格差の象徴とも言えるのが非正規公務員。今や職員の約 1/3 を占め、DV 対応の婦人相談員など、重要な業務を担う職ばかり……。それなのに年収は、手取り 100 万円台という経済格差です。さらに、女性職員は男性の 7 倍という男女格差も（正規は男女ほぼ同数）。格差の上で成り立つ公共サービスで、本当によいのでしょうか？

公共サービスを守るためにこそ！

非正規職員の不安定さは、結局はめぐりめぐって、区民サービスの悪化につながります。社会が複雑化し、公共の仕事が増え続ける今、目先の人件費削減よりも、昇給制度などの待遇改善をすべきです。そして継続性、専門性を正しく評価し、正規職員にしていくべきです。それは、地域の給与水準をあげ、地域経済の活性化にもつながります。安心して働ける練馬区は、安心して暮らせる練馬区でもある……。高口はそう考えます。

暮らしに直結する予算が **減額** の一方で、 大型道路や再開発事業は **変更なし!**

練馬区は、新型コロナの影響を受け、「財政難」による「聖域のない見直し」を繰り返してきました。2021年度予算案で発表した事業見直し……その削減額は、56 億 4000 万円。といっても大部分は、施設改修の“延期”（約 42 億円）。いずれ実施されるものがほとんどです。

一方で、狙い撃ちのように減額されたのが、高齢者への補助・給付の事業。紙おむつ支給や配食サービスなど、生活に直結するものも含まれます。こちらは「抜本的な見直し」も含む……つまり、財政難が過ぎた後も、事業中止がありうることを、練馬区は示唆しています。

削減された、生活に関わる予算の一例

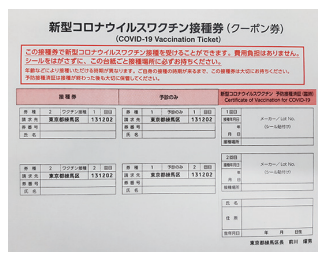
- ↓ 高齢者の紙おむつ支給 (8千→5千円に減額／対象者も見直し)
- ↓ 第三子誕生祝い金：20万→10万円に減額
- ↓ 乳幼児一時預かり事業委託料：192万円の減額
- ↓ 外遊びの場提供事業費（プレイパーク等）補助金：354万円の減額

新型コロナワクチン 不安な声にも寄り添って

はやく打ちたい、副作用が不安……様々な声が聞こえてくる、新型コロナワクチン。高口は、区民や診療所の方々に、実際ヒアリング。様々な心配、不安を伺い、その声を議会に届けることをモットーに、質疑をしました。

刻一刻と状況が変わり、様々な情報が飛び交うなか、練馬区として丁寧な説明をすること。各自がじっくり検討でき、その思いが尊重され、受けない方への差別等もないよう配慮されることが重要と、高口は求めました。

接種票に同封される『説明書』には、「これまでのワクチンで使用されたことのない添加物が含まれます」[新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります]との記述のみで、詳しい説明はありません。新しいワクチンだからこそ、より詳細な説明が必要です。



**必要ですか？
大型道路**

長く訴えてきた道路問題。コロナ禍の今こそ、改めて考え直したい…区民の皆さんとともに！

練馬区議会議員 高口ようこ

生活しやすい練馬区ではなかったの!?

暮らしの予算は切り詰める一方で……多額の税金を投入する道路計画や再開発事業は、一切中止なし！ 石神井公園駅前の再開発は、総額約 110 億円も税金をかける予定ですが、見直しはありません。

大型道路は、長い長い時間がかかる事業で、完成はまずと先のこと。コロナで誰もが苦しい今、目の前の命・生活と、どちらを優先すべきなのか？ 「聖域のない」見直しではなかったのか？ ……そう問いかげずにはられない、練馬区の 2021 年度予算です。

高口の質疑 2月10日練馬区議会・保健福祉委員会

高口：新しいタイプのワクチンだが、区の見解は？

練馬区：薬事承認後、国から情報提供。それを踏まえ、区民にわかりやすく説明する

高口：国は当初、小分けを想定していませんでした。小分けの検証はされているのか？（練馬モデルでは小分けが前提）

練馬区：国は、12月年末の説明会では、小分けを想定せず。検証したかどうかは、把握していない

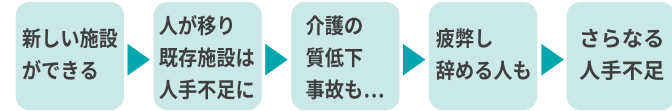
高口：練馬区は、約 6000 人の訪問診療受診者は、「原則、主治医が行う」としている。一方で、訪問診療はスケジュールが決めづらい、接種後の観察が困難などの懸念があるが？

練馬区：医師会との協議で話に出ている。詰めなくてはならない課題だと認識

もはや介護崩壊!? 現場の支援が急務!

人手不足の負の連鎖...

断ち切るにはまず、職員の待遇改善を!



※現場の介護職員のお話より

「練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(第8期/令和3-5年度)の策定を機に、高口が介護の実態を調査したところ……現場の介護士からは、左図の訴えを伺いました。計画では「令和22年には約3,100人」も、介護人材が不足すると見込んでいます。一方、コロナ渦で、現場はさらにひっ迫。「コロナ発生前から人材不足のところへ、経営が打撃。減給やボーナスカットした施設が多く、長期雇用者が毎月辞めていく」との実例も伺いました。練馬区に対し、慰労金等による待遇改善、コロナ対策の支援を、強く求めました。

ヤングケアラーも支援を!

若い介護者=ヤングケアラーが今、社会問題に。計画素案ではその記載がなく、要望したところ……決定した計画に「若年の介護者等の家族介護者も含めた支援」と盛り込まれました。今後も若年介護者の支援を求めています!

練馬区の防災対策を網羅した「練馬区地域防災計画」

2018~19年に起きた全国の豪雨、水害、地震などを踏まえ、『地域防災計画』が改訂されました。①危険なブロック塀の対応 ②災害時の情報伝達強化 ③迅速な生活再建支援体制 ④台風接近時練馬区行政タイムラインの策定……の4点が盛り込まれた他、新型コロナウイルス対策として、マスクや消毒液等の備蓄、咳熱症状者用スペース等も明記。また、アレルギーや嚥下対応食品、乳児用液体ミルクの備蓄、外部給電の導入推進など、取組みは前進しています。

高口の質疑 12月7日総合・災害対策等特別委員会

- ★女性視点の防災対策の充実…特に、性被害・性暴力対策を!
- ★密を避けることが重要に…避難拠点の定員は足りているのか?

ブロック塀撤去、進捗はたった3%!?

区長が「攻めの防災」と鳴り物入りで始めたブロック塀撤去事業。2年間の進捗は、

危険性が高い Aランク	→約3%
約1600件中58件の撤去	
Aランク のうち特に危険な300件	→8件
安全性に疑いがある Bランク	→約0.3%
約16400件中55件の撤去	

2022年度までのAランク全撤去が目標ですが、達成は厳しい見通しです。 ※2021年1月15日時点

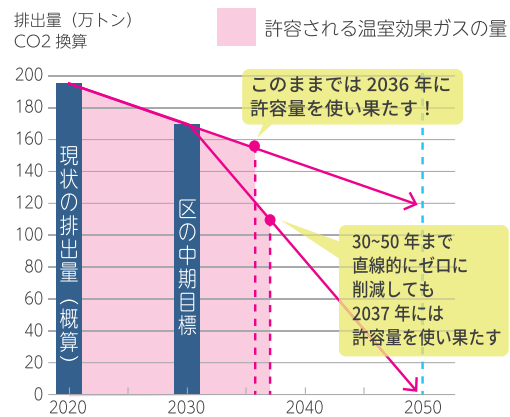
【独自調査】練馬区の気候危機対策は不十分!

世界的な気候危機を前に、「脱炭素」が急務です。しかし練馬区の実績は不十分…! それを示すデータを、独自に試算し、予算委員会で突きつけました。

パリ協定の努力目標は「産業革命前より1.5℃」。1.5℃に抑えるには、温室効果ガスの排出量に限界があります。

練馬区の排出実績、削減目標等から推計すると……(右図)。2036~2037年には、許容される温室効果ガスの量を上回ってしまいます。つまり、「2050年炭素ゼロ」は実現できません!

再生可能エネルギー補助金の予算等を拡充し、今からより高い削減を実行すべきと、議会で訴えました。



気温上昇を一定レベルに抑える場合に排出可能な温室効果ガスの量は「炭素予算(カーボンバジェット)」。パリ協定の努力目標「産業革命前より1.5℃」に抑えるための世界の炭素予算:約1万400億トン(2020年末試算)これを人口1人当たりで割り当て、練馬区の人口約74万人に換算すると:約2,850万トン。練馬区に残された炭素予算と、現在の排出実績、環境基本計画の削減目標から推計

「食格差」解消のため...有機給食を!

「子どもにカップ麺を食べさせるのがやっ」と……高口が聞いた実話です。野菜が高くて買えない等、経済格差による「食格差」が存在します。そこで重要なのが、学校給食。気候危機による食糧危機のリスクも高まる中、今後は小規模農家による有機農業が鍵とも言われます。今こそ、練馬区でも有機農業を支援し、地産地消の有機給食の取組みを始めるべき!と、議会で強く求めました。



消えゆく敬老館...

高齢者の自主的な活動の場は、どこへ

練馬区は今後、「敬老館を廃止→街かどケアカフェ、地域包括支援センターへ機能転換」とする方針です。今年3月の春日町敬老館の廃止が、その第1号。

敬老館=区民が主体、自主的な活動の場ですが、街かどケアカフェは、介護予防を目的とした事業主体の施設。自主的な活動の場の保証も、重要な論点の一つです。

【講座レポート】新しい教育を実践!

2020年度も、財政、性教育、種苗法改正など、多彩なテーマの講座を開催しました。

特に力を入れたのは、「イエナプラン教育」。第一人者のリヒテルズ直子さんを迎えた講座ののち、現在は「イエナプラン勉強会@ねりま」…通称「イエねり」を定期的に開催。夏には、感染状況を注視しつつ、実践の場「なつのがっこう」に挑戦する予定です。昨年9月の一般質問でも、イエナプランを踏まえ質疑しました。地域から、議会から……新しい教育を実現していきます!



がん教育は、患者や家族への配慮を

2006年がん対策基本法、2012年がん対策推進基本計画の下、学校での「がん教育」が推進されています。

- ◆ 患者や家族への配慮
 - ◆ 誰もがなる可能性のある病気。自己責任にしないこと
 - ◆ 社会の理解を進めること
- の3点を、求めました。



知らなくても叱られない 区議会 Q&A

Q 会派って何?

A 政党が同じだったり、同様の考えをもった議員がグループをつくり、活動します。このグループを「会派」と呼んでいます。練馬区議会では、所属議員が一人でも「会派」として扱います。3人以上の会派から「議会運営委員会」、5人以上の会派から「幹事長会」に参加できます。

新会派「インクルねりま」 5人中4人が女性。ねりまに新風を!

今年5月14日、新会派「インクルーシブな練馬をめざす会(インクルねりま)」を結成しました。幹事長会に参加できる、5人会派です! 議会改革は容易ではありませんが、少しでも前進させるべく、頑張ります!



メンバー左から、岩瀬たけし/高口ようこ/かとうぎ桜子/やない克子/きみがき圭子

こうぐち
高口ようこ かわら版
vol.12

〒176-0002 練馬区桜台 3-42-29 荒川方
tel 080-7746-8648
mail info@koguchiyoko.net
web koguchiyoko.net

あなたの力が未来を変える
情報充実発信中!

発行:インクルーシブな練馬をめざす会 高口ようこ 市民の声ねりま shiminnokoenerima.com